

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 姉妹都市スポーツ交流事業助成金
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	1	国内における交流の場と機会の拡大
小分類	1	国内の様々な地域との交流の推進
主要な施策	2	姉妹都市交流の推進
事務事業番号	002	事務事業コード 62112002 事業開始年度 昭和 5 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	姉妹都市スポーツ交流事業助成金
------	------	------------	-----------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

**事務事業の目的と成果**

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 小・中学生
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 姉妹都市スポーツ交流事業を実施する交流団に、助成金を交付し白石市の小中学生との交流を支援している。 【実施種目】 水泳：毎年宮城県白石市で開催 武道（柔道・剣道・空手）・野球・サッカー：隔年1種目を白石市と登別市を交互に訪問し交流する
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 姉妹都市のスポーツ親善交流により、両市の次代を担う青少年の交流を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 昭和58年 白石市と姉妹都市提携

**指標の推移**

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	姉妹都市親善水泳大会交流団参加者数	人	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	30				
	姉妹都市少年スポーツ交流団参加者数	人	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 生涯学習振興基金	千円	500					0
	一般財源	名称	千円	10	751	0	0	0	0
合 計				510	751	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	69	73			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		69	73			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 姉妹都市との交流を推進するため、市が支援することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 毎年、多くの少年が事業やホームステイを通して、交流・親睦を深めている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ これまで多くの小・中学生が参加し、ホームステイなどの体験を通して、姉妹都市との交流を深めている。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 姉妹都市の交流を推進する事業であり、予算の削減は難しい。

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	姉妹都市交流の推進や参加する少年にとっても貴重な体験であることから、今後についても積極的に支援していくことが必要である。 なお、予算は平成23年度より総務部の「姉妹都市交流推進協議会補助金」に一本化。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）